



# 100年前の 手紙

関東大震災直後、  
アメリカに届けられた  
日本人学生の感謝の想い

## セッション内容

関東大震災の直後、福島県からアメリカに届いた震災の電報。それを受け取ったクーリッジ大統領は、全米に向けて超大規模な日本支援キャンペーンを呼びかけました。

東北三県凶作とサンフランシスコ地震に始まり、やがて東日本大震災に繋がる日米間の相互支援の歴史を、新たに発見された日本の学生らの手紙から読み解くことで国際協力の意義と将来の備えを考えます。

## 登壇

川内 淳史

東北大学災害科学国際研究所（歴史学）

小野 裕一

一般財団法人世界防災フォーラム  
東北大学災害科学国際研究所

## 主催

一般財団法人  
世界防災フォーラム



X (Twitter)

@worldbosaiforum



ウェブサイト

worldbosaiforum.com



世界防災フォーラム



## 世界防災フォーラムとは？

世界防災フォーラムは災害で悲しむ人々を  
これ以上増やさないために活動する仙台の団体です。

2015年、「仙台防災枠組」が国連防災世界会議で策定されました。一方、災害による被害を減らす具体的な解決策について情報を共有したり、話し合える国際的な「場」はありませんでした。

そこで、専門家だけでなく市民や学生もみんなで防災を話し合える「場」を仙台的地に立ち上げることにしました。それが「世界防災フォーラム」の始まりです。



(Twitter) フォローを  
お願いします。



世界防災フォーラム  
@worldbosaiforum



### ご寄付はこちらから

世界防災フォーラムの活動は皆さまからの  
ご寄付によって支えられています。

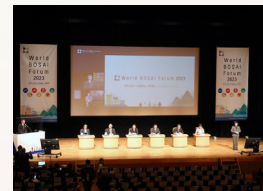
世界防災フォーラム

<http://worldbosaiforum.com>




## World BOSA Forum 2023 報告

2023年3月10日(金) -12日(日) 仙台国際センター  
3回目となる「市民参加型」国際会議を開催しました。



### 国連へ提言

議論された内容をもとに仙台防災枠組の中間評価に向けた提言を作成。国連事務総長特別代表(防災担当)兼・国連防災機関(UNDRR)ヘッドの水鳥真美氏に手渡ししました。提言の全文は公式ホームページでご確認いただけます。

2023年は **40** の国・地域から   
延べ **5412** 名の方にご参加いただきました。

本会議では口頭セッション 30、カンファレンス 7、ポスター発表 55、ミニプレゼンテーション 33、EXPO 展示ブース 33 が開催され、一般市民、国際機関、研究機関、政府関係者、地方自治体、企業などの方にご来場・ご出展いただきました。



### 文化芸術と防災の融合を象徴した クロージング

### 世界防災賞

自治体の防災に尽力し、普代水門の建設により多くの生命と住居、財産を救った(故)和村幸得氏(元岩手県普代村村長)と、関東大震災において国境を超えた被災地支援に尽力した(故)カルビン・クーリッジ氏(アメリカ合衆国第30代大統領)に、世界防災賞を授与しました。



普代水門(岩手県普代村)



画像出典: Forbes Library

カルビン・クーリッジ氏

次回は2025年3月 仙台にて開催予定です。